

協働テーマ

デジタル技術を活用して都営バスの乗降データを効率的に取得し、
路線やダイヤの設定・見直しに活かしたい！

■ 現場課題

課題詳細

バス路線の利用状況を把握するため、「全乗客の停留所ごとの乗車・降車人数データ」と「全乗客がどの停留所から乗ってどの停留所で降りているかのODデータ」をデジタル技術を活用し、常時収集したい。

課題解決による
想定成果・効果

- ・データを常時収集することで、時間帯・路線・停留所別など多角的に分析できる
- ・従来の調査員による乗り込み調査よりもコストを削減できる
- ・収集するデータの個人情報保護・プライバシーに配慮
- ・現場（バス乗務員、乗客の皆様等）への負担が発生しない

■ プロジェクト概要

課題に対する
ソリューション

AIカメラとOD推定プロダクト「B-RIO」を活用し、ODデータ及び停留所別乗降人数データの取得、精度検証、課題分析

協働
プロジェクト
内容

- 都営バス計10両に本プロダクトを設置し、乗降データ取得の実証実験を実施
- ① 様々なバス車両のメーカーや型式から車両を選定し、カメラ等の取付位置を検討
 - ② 営業運行のバスに調査員が乗り込み、目視によるOD調査を実施
 - ③ 「B-RIO」の出力データと乗り込み調査のOD調査を突合し、精度評価を実施

成果

- 下記のとおり精度評価を行い、課題抽出と解決策を提案
- ・ODデータ正解率 目標：70%→結果：65.3%（平均）
 - ・停留所別乗降人数※正解率 目標：95%→結果：乗車91.4%、降車90.3%（平均）

※本プロジェクトでの停留所別乗降人数は、ODマッチング後のデータを停留所ごとに集計した数値



乗車側/車両前方カメラ



降車側/車両後方カメラ

ディーゼルバス
フルフラットバス
燃料電池バスで検証